

## 事例

## 会員それぞれの活動が会員みんなの活動に～山形の魅力ある食文化を活かして「健康で豊かな食生活」の実現を目指す活動～ (第4回食育活動表彰 農林水産大臣賞受賞)

やまがた食育ネットワーク (山形県)

やまがた食育ネットワークは、山形県内で食育を実践している又は実践しようとしている人等が集まり、食育活動の情報交換や会員相互の連携協力により、食育活動のより一層の推進を図ることを目的としています。東北農政局山形農政事務所(当時)が県内全域に食育のネットワークを構築するため、食育を実践している個人や団体を集めたのが始まりで、当初は関係者の情報交換が主な活動でした。その後、平成18(2006)年に独立しました。最大の特徴は、「ネットワークである」ということであり、最も重要なことは「情報の共有と発信」と考えています。県内を4つのブロックに分け役員を選出しており、会員同士がつながり、協力し合い、それぞれの活動や、ノウハウ・マンパワー等を生かし、多様な取組を経験しながら、学び合うことによって、更に広がりを生む活動になっています。

毎年、山形県で開催されている「やまがた健康フェア」に、やまがた食育ネットワークとして出展し(令和2(2020)年度は中止)、会員企業による食品展示や、生活習慣病予防や健康料理教室、在来作物や郷土料理の試食等を実施することにより、本ネットワークの活動を理解していただくとともに、広く県民に、食育を体験し、学んでもらえるよう、次世代につなげるための情報を発信しています。

また、在来作物を守り次ぐ人々を描いた山形発の長編ドキュメンタリー映画「よみがえりのレシピ」の制作支援や上映会の活動、地域の特産物を使った料理教室を通して、山形の在来作物の普及啓発も行っています。

少子高齢化や核家族化、共働き世帯の増加等に伴い、人々の食生活が変化する中、本ネットワークは、山形県全域の会員と様々な会員企業のネットワークを生かし、県民の健全な心身を育むための楽しい食育活動を行い「豊かな山形の食文化・魅力ある日本の食」を伝える活動を行っています。

情報発信のための  
手作りポスター

在来作物を使った親子料理教室

## 第3章

## 地域における食育の推進